

芸術（音楽・美術・書道）の選択

高校の芸術の授業では、3つの科目（音楽・美術・書道）から1つを選び、学習します。1年生普通科・理数科の全員が週に2時間、2年生普通科文系コースで週に1時間の授業があります。今回選択し、確定した科目は2年間変更することはできません。第1回招集日（3月14日）までに、希望する科目の順を考え、次ページの「**芸術選択希望調査票 記入上の注意**」を読んで「**選択番号**」を決めておいて下さい。第1回招集日の会場にて、希望調査票に記入してもらいます。

音楽 I

1. 学習内容

音楽の幅広い活動を通して、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を養います。また、個人やグループ活動を通して創造力や表現力を養います。好奇心旺盛な気持ちで臨んでください。

(1) 表現 歌唱…独唱から合唱まで、日本語から英語・イタリア歌曲まで

いろいろなジャンルの歌を学習します。

器楽…ギター・ウクレレ・和楽器（三線）等

創作…オリジナル曲作曲・グループ創作等

(2) 鑑賞 ミュージカル・模範となる演奏・友人の発表（グループ創作の発表）

(3) 楽典 音階・コードネーム仕組み等

2. 授業に必要なもの

基本的には学校にあるもので進めていきますので、特に必要ありません。

美術 I

1. 学習内容

美術から広がる様々な活動を通して、将来に活かせる教養と経験、思考力や表現力を養います。

(1) 表現 …平面作品制作、スマホカバーデザイン（ビジュアルデザイン）、プロダクトデザイン、立体作品制作（パブリックアート）、iPhoneを使用した写真加工など

(2) 鑑賞 …美術史、現代アート、アート思考・デザイン思考など

2. 授業に必要なもの

年度初めに教材費（約 4,000 円）を徴収します。絵の具や紙、パレット、筆、粘土など全員共通で使う材料の費用は、すべて教材費から支出します。

書道 I

1. 学習内容

読みやすく、美しい文字を硬筆（ペン字）でしっかり身に付けます。一方、毛筆では、様々な筆づかいを学んだ上で、自己を解放し「自分にしか書けない作品づくり」を目指します。併せて漢字の歴史や書道史についても折に触れ概説します。

滋賀県書き初め展覧会・滋賀県硬筆作品展覧会など、県内外の各種展覧会にも積極的に出品します。

2. 授業に必要なもの

年度初めに教材費（約 6,000 円）を徴収します。筆、紙、墨など用具、用材や各種展覧会出品料などはすべて教材費から支出します。

「芸術選択希望調査票」記入上の注意

＊第1回招集日の会場で記入してもらいます。この用紙を印刷する必要はありません。

◆下の①～⑫のうち、現在の自分の希望のあり方に最も近い番号を**1つ選択**して下さい。

◆選び方の例：

- ・美術や建築系の進路を考えているので、絶対美術を選択したい ⇒ ⑤を選ぶ
- ・美術か書道のどちらかで、どちらかといえば美術がよい ⇒ ⑥を選ぶ
- ・美術か書道のどちらでもかまわない ⇒ ⑦を選ぶ

◆①、⑤、⑨は、芸術科目の選択が自分の将来の希望進路や職業に関わる場合のみ、選ぶことができます。これを選ぶ人はその理由を調査票に必ず書いてもらいます。

理由の例 ・ 将来、中学校の音楽（国語／美術）の教員になりたい。
・ 音楽（美術／建築／書道）関係の進路を考えている。（など）

◆なるべく希望を尊重しますが、講座編成の都合上、変更してもらう場合があります。

◆芸術選択とクラス編成は関係しません。（同一科目をとれば同じクラスになる可能性が高まるということはありません。）

◆確定した芸術選択科目については、第2回入学許可予定者招集日に発表します。

↓ 当日の記入欄見本

選択番号	
＊①、⑤、⑨は、芸術科目の選択が将来の希望進路や職業に関わる場合のみ選べます。 その場合は以下に理由を書いて下さい。	音楽 ①* ⑫ ② ⑪ ③ ⑩ ④ ⑨* ⑧ ⑦ ⑥ ⑤* 書道 美術